

I・TOP横浜との連携に 期待すること

慶應義塾大学総合政策学部
教授 古谷知之

2017.3.29 連携協定締結式 (SFC研究所＋横浜市経済局＋IDEC)



SankeiBiz

慶応大SFC研、横浜市などが協力協定 革新技术の産業化・実用化で連携

2017.5.1 05:00

慶応大学SFC研究所と横浜市経済局、横浜企業経営支援財団(IDEC)は、IoT(モノのインターネット)、人工知能(AI)、自動運転といった革新技术の産業利活用や新ビジネス創出の促進などを目的に連携・協力する基本協定を締結した。

SFC研は1996年の発足以来、産学官連携の研究成果を社会へ還元してきた。一方、横浜市はオープンイノベーションによる新産業・新事業の創出に向けた取り組みの一環として産学官金連携による新たなコンソーシアム、「I.TOP(アイトッブ)横浜」を立ち上げた。

こうした中、SFC研は革新技术に関する研究を推進するための新たな研究フィールドを検討。横浜市とIDECは、今年度からIoT関連のプロジェクト支援を本格的に始動しており、SFC研と方向性が一致したことで締結した。

SFC研がもつ革新技术に関する高度な知見や研究成果と、横浜市とIDECが持つ企業ネットワークや公共用地などの地域資源を結びつけ、革新技术の産業化・実用化に向けた実証実験、データサイエンスやイノベーション人材の育成などの取り組みを展開。横浜経済の成長や中小企業の活性化、社会課題解決への貢献を目指す。

取り組むテーマ例と主体

1. データビジネス創造・ラボ
2. イノベーション人材育成 (EDGE)
3. ドローン社会共創コンソーシアム
4. ファブラボ
5. 地域IoTと情報力コンソーシアム
6. 多様な主体の交流による横浜市の地域力創造 (地域活性化)
7. 「ラボシティ横浜」

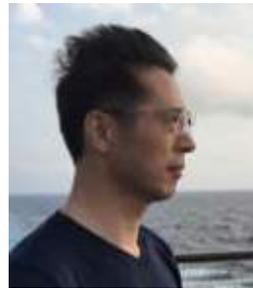
関わってくださる教授陣



小川克彦教授
ヒューマンセンタード
・デザイン



池田靖史教授
建築学



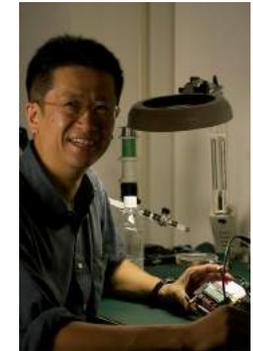
庵網林教授
地理情報科学



清木康教授
マルチメディア
データベース



飯盛義徳教授
地方創生



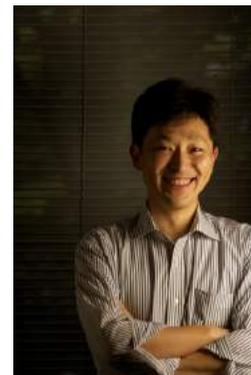
三次仁教授
通信科学



田中浩也教授
デジタル
ファブリケーション



中西泰人教授
情報デザイン



植原啓介准教授
コンピュータ
ネットワーク



中澤仁准教授
分散システム

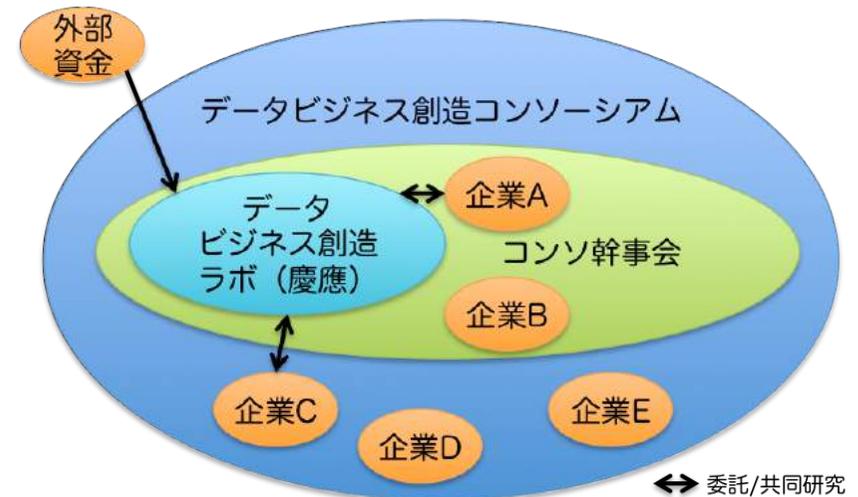
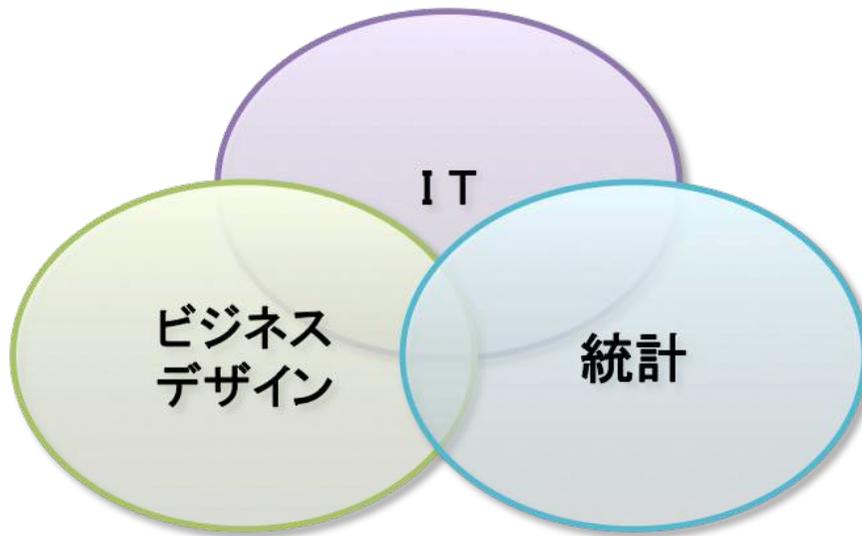


古谷知之教授
データサイエンス

データビジネス創造・ラボ

<http://dmc-lab.sfc.keio.ac.jp/v2/>

- 代表：植原啓介・環境情報学部准教授
- IT、統計、ビジネスデザインを研究テーマとするSFCを中心とした慶應の教員及びスタッフから構成される研究組織
- データビジネス創造コンテストや寄付講座を実施



データビジネス創造コンテスト



慶應義塾大学SFC研究所
データビジネス創造・ラボ

accenture
ハイパフォーマンスの実現へ

外国人のWiFiアクセス分析やオープンデータを使った分析によって、訪日外国人を呼びこむ施策をつくろう!

地方創生 地域活性化

第5回 データビジネス創造コンテスト

DIGITAL INNOVATORS GRAND PRIX 5

急増する訪日外国人の動態を分析し、

誘客・消費を促進する

施策を立案せよ。

賞金総額 55万円

本選出場者が決定しました。現在、[観覧の申込み](#)を受け付けています。

最新情報&シェア

DIGとは

実施概要

テーマ

データとツール

日程

参加の流れ

審査基準

審査員

[参加申込み](#)

EDGE

<http://edge.sfc.keio.ac.jp/ja/>

- 代表：池田靖史・大学院政策・メディア研究科教授
- 政策・メディア研究科、システムデザイン・マネジメント研究科、理工学研究科が連携し、文部科学省グローバルアントレプレナー育成促進事業の支援を受けた、グローバル・イノベーション人材育成連携プログラム



space for innovation, and for innovators

EDGEについて プロジェクト グローバルイノベーションフォーラム 教員 プロトタイピング支援 ニュース アクセス 申し込み

- Foster and Partners, London
- London school of Architecture, London
- UCL Bartlett, London
- University of East London, London
- Victoria and Albert Museum, London

FRANCE
- École nationale supérieure d'architecture de Paris-La Villette, Paris

SPAIN
- Universidad Politecnica de Madrid

DENMARK
- Eentilleen, Copenhagen
- GXN, Copenhagen

THE NETHERLANDS
- DUSCH Architecture, Amsterdam
- Samira Boon Studio, Amsterdam
- Studio RAP, Rotterdam

ITALY
- Venezia, Venice

CHINA
- Dalian
- Dalian
- Wuhan
- Chen-xi

NEPAL
- Community

WHAT WE DO, NOW IN BOOK FORM

[DOWNLOAD HERE ! ダウンロード](#)

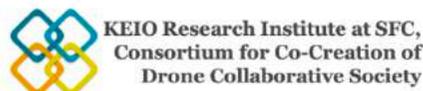
横浜市内企業を対象とした データビジネス人材育成プログラム

- 対象：横浜市内中小企業で働く方
- 内容：データビジネスに関する合宿形式のワークショップ
- 人数：15-20名
- 時期・開催場所：横浜市と調整中
- 今年度中に実施予定

ドローン社会共創コンソーシアム

<http://drone.sfc.keio.ac.jp/>

- 代表：古谷知之・総合政策学部教授



2017ドローン防災シンポジウム 2017年度 定例研究会 SFC内ドローン利用について コンソーシアム会員の申し込みについて



慶應義塾大学SFC研究所
ドローン社会共創コンソーシアム

会員・ご入会について



慶應義塾大学SFC研究所 ドローン社会共創コンソーシアム

- **教育・研究・社会応用**の三本柱
- 会員企業・団体・自治体は**15**団体
- 約**20**研究室、研究者**30**名以上、ドローン**200**機以上
- シンポジウム、勉強会を定期開催
- 大学・大学院でのドローン人材育成（**100**名超が履修）
- **3つの特区**（国家戦略特区・ロボット特区・ライフノベーション特区）・**DID外**という立地特性



自治体との
連携協定

モバイルWG



産業応用WG



教育WG



エンタメWG



ファボラボ

<http://fablab-kannai.org/>

- 代表：田中浩也・環境情報学部教授



FabLab Kannai

[What's Fab Lab? ▾](#)

[Event ▾](#)

[Project ▾](#)

[利用するには \(How to use\) ▾](#)

[Access](#)

[Calendar](#)

[Contact](#)

[フロントページ](#)



地域IoTと情報力コンソーシアム

<https://www.sfcity.jp/>

- 代表：中澤仁・環境情報学部准教授



ABOUT

CONSORTIUM

GETTING STARTED

TOOLS

DOWNLOAD

TEAM

CONTACT

Boot the Smart City



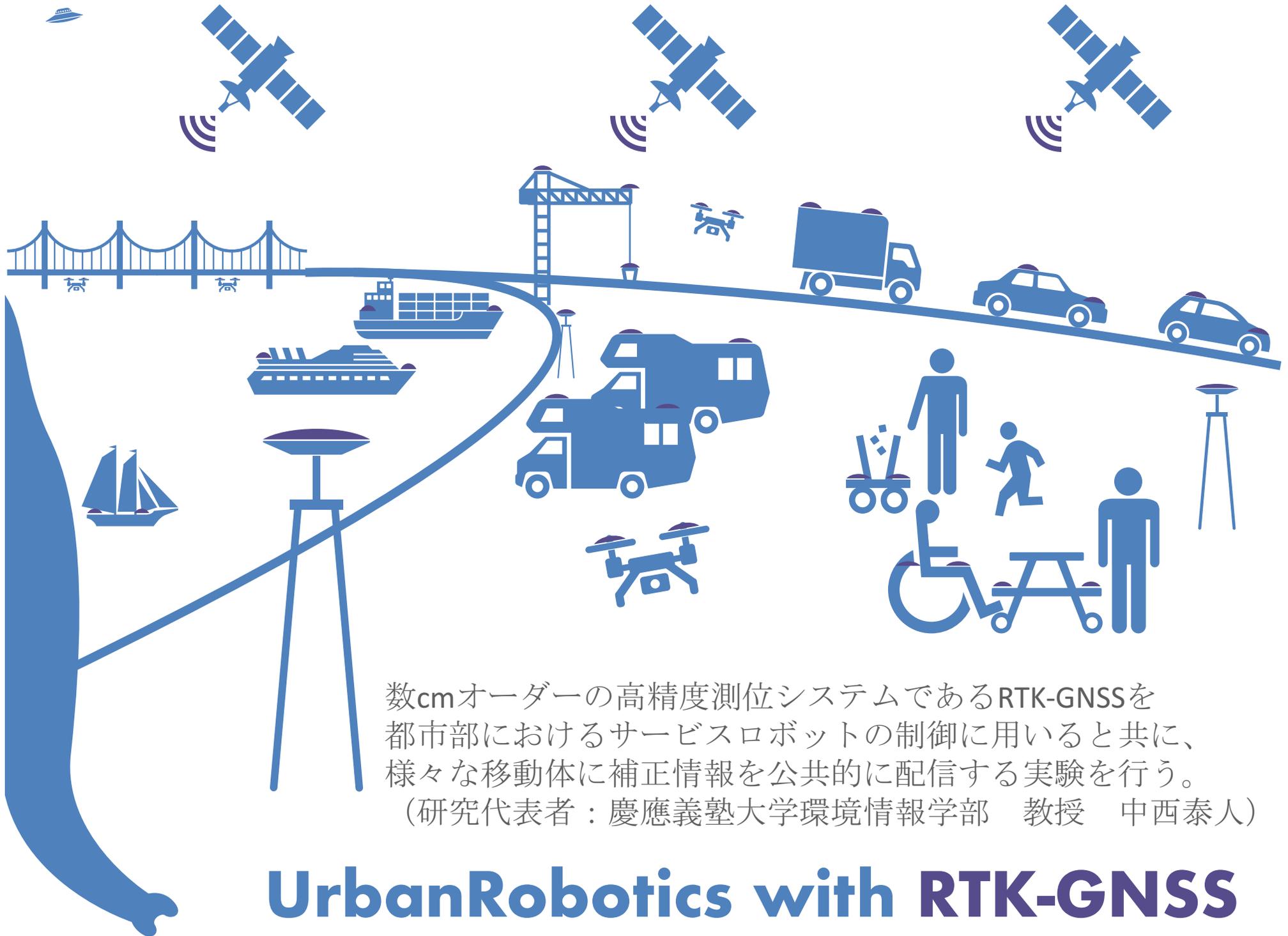
SFCity platform

- *Coping with tons of sensors*
- *Providing unified APIs*



多様な主体の交流による 横浜市の地域力創造

- アートイベントによる多世代交流の場づくり
- プラットフォーム概念を活用した横浜市らしい居場所づくり
- 横浜市のファミリービジネス振興と後継者育成



数cmオーダーの高精度測位システムであるRTK-GNSSを
都市部におけるサービスロボットの制御に用いると共に、
様々な移動体に補正情報を公共的に配信する実験を行う。
(研究代表者：慶應義塾大学環境情報学部 教授 中西泰人)

UrbanRobotics with RTK-GNSS

SFC研究所ならびに研究者に関するお問い合わせ

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室 学術研究支援担当
電話: 0466-49-3436 / FAX: 0466-49-3594
E-mail: kri-pr@sfc.keio.ac.jp

慶應義塾大学SFC研究所について

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科、大学院健康マネジメント研究科、総合政策学部、環境情報学部、看護医療学部の附属研究所である SFC 研究所は、21 世紀の先端研究をリードする研究拠点として、SFC における教育・研究活動と、産官学および国内外のあらゆる関連活動との双方向の協調関係を育みながら 諸科学協調の立場から先端的研究を行い、社会の発展に寄与することを目的としています。

ご清聴ありがとうございました